



自社運営の「オンテックス・テクニカルスクール」では、確かな技術を身につけた職人を多数輩出。全現場での自社職人比率100%を目標とし、「足場組み立て等作業主任者」「塗装技能士」などの資格取得支援も行っています。技術や技能の習得だけでなく、プロとして、社会人として信頼を得る人格形成など、業界トップブランドに相応しい優れた技能士を育成し、高品質な施工を実現しています。

であること
をお約束します！

技術も 心も 一流

オンテックスは、





大阪府認定職業訓練校

オンテックス・ テクニカルスクール

礼儀礼節を学び、専門知識の習得やコミュニケーション能力の向上を目指す研修施設と、スケルトンタイプの模型住宅の2棟を構える実技研修施設を整備。塗装・防水・足場・板金・注入・左官・吹付け・住設備・瓦葺替・シーリング工事などの実技研修と合わせ、専門知識やコンプライアンスを含めた社会人としてのルール・マナーなどのカリキュラムを用意。理論と実践を合わせた総合的な教育システムで優れた人材の育成に取り組んでいます。



職業能力開発校認定書

地域の生活と安全に貢献しています。

公共整備事業

公共建造物は社会を支える重要な役割を担っています。品質の確保、耐久性の向上、災害対策、美観修復などを目的に、公営住宅・公営施設、高架・橋梁といった公共建造物の修繕工事、塗装工事を行い、地域の生活と安全に貢献しています。

公営住宅・公営施設修繕工事

豊富な実績で培われた熟練の技術者が、より確かな品質を確保。効率的な大規模修繕工事をはじめ、その他の改修工事を行います。



高架・橋梁塗装工事

耐久性の向上・災害対策・美観修復などを目的に、大切なライフラインを守り、地域社会の皆さまが安心して生活できるよう工事を進めています。



公園遊具再生プロジェクト

テクニカルスクールで育ったスタッフが、老朽化により塗装の剥がれた遊具に再塗装を施し、美しい公園に再生するプロジェクトを実施しています。



PRIDE



高屋 竜朗

リフォーム職人
2007年入社

職人の道を極めたい。

一から覚えた塗装の技術。
ウデが上がるに従って、
塗装の奥深さも見えてくる。

塗装の世界は、想像以上に奥が深いんです。技能部では外壁塗装の作業を担当していますが、配属当初は苦労しました。塗料のことも、ハケの使い方も、すべて一から。作業を一通りできるようになるまで、丸2年かかりました。でも、それはほんのスタート地点。リフォームの場合、一軒一軒の家が本当にさまざまなので、個々の状況に合わせて的確に対応できる力を身につけることが大切なんです。

建てた工務店が違えば、壁の材質、屋根の勾配、サッシの種類なども異なります。それに合わせて、使用塗料や塗装工程も変えていかなければなりません。基本をマスターしたら、次々と物件を担当しながら経験を積み、応用力をつける。そうやって、一人前の塗装職人へと成長していきます。以前はできなかったことができるようになると、ウデが上がったと実感できてうれしいですね。

速く、美しく。
プロの職人として
納得のいく仕事を続ける。

今は私も、職長として現場のリーダーを任される立場になりました。後輩を指導しながら、いかに「速く、美しく」仕上げることができるかに日々、挑んでいます。パッと見ただけではわからない細かいところこそ、職人のウデが問われます。いつ、どんな状況でも、お客様に自信を持って「できました!」と言える仕上がりを実現する。それが、職人としての私のプライドです。

これから技能部をもっと大きくしていきたいと考えています。そのためには私自身、さらに成長し、技術に磨きをかけていく必要があります。実は高校時代、野球の道を断念して後悔したことがありました。二度とあんな思いはしたくない。だから、この職人の道だけは、途中でやめるわけにはいかないんです。自分が納得のいく仕事を重ねながら、職人の道を極めていきます。ひたむきに、一歩ずつ。